

8/4 しまくとぅば語やびら大会

ふるさとの言葉に対する関心を高め、その価値を見直すとともに地域文化の継承発展の一助とすることを目的に第3回しまくとぅば語やびらうるま市大会が開催されました。



8月 福祉施設ふれあい体験学習

施設の役割や仕事内容への理解を深めるとともに交流及び福祉教育の推進を目的に開催された体験学習には、夏休みを利用して市内の中・高校生約250名が参加。保育園や老人保健・福祉施設などで福祉の仕事を知りました。



8/5 親子カヌー体験教室開催

宇堅ビーチにて、親子カヌー体験教室が開催され、市内から親子30組が参加しました。B & G勝連海洋クラブ員から指導を受けた後、参加者した親子は楽しそうにカヌーを漕いでいました。



8/9 故郷の空の下、子ども達と一緒に

テレビの収録に訪れた、うるま市をルーツに持つハワイ在住のミュージシャン、Melodyさん(写真中央)。本市で沖縄の童唄の継承活動をしている宮城葉子とていだぬふぁ童唄会も撮影に参加しました。



叙位叙勲

旭日単光章

伊波隆氏 (57)

うるま市石川 元うるま市議 (6月28日逝去)

勝連双葉 大会初の2連覇を達成!!

JALカップ第26回全九州・山口少年野球大会優勝報告

7月21日～24日の間、64チームが参加して行われた全九州・山口少年野球大会(開催地:福岡県)で、勝連双葉が昨年に続いて見事優勝の栄冠を手にし、大会初の2連覇を達成。

8月7日、知念市長、前門教育長を訪れ、その喜びを伝えました。選手を代表して仲村怜君が「九州大会では、自分達の力を十分に発揮して、優勝することができました。8月の市長杯でも優勝目指して頑張ります。」と感想と抱負をのべました。



▲ 見事、大会初の2連覇を達成した勝連双葉の選手達

「みんなの輝く未来へ」をテーマに 手話スピーチコンテスト全国大会へ

手話スピーチコンテスト全国大会出場決定報告

原稿及びビデオによる審査の結果、中部農林高等学校福祉課に通う久志英恵さんが、8月に東京都で行われる「全国高校生の手話によるスピーチコンテスト」に出場が決定。8月7日、家族や学校関係者とともに、市役所を訪れその報告を行いました。同大会への出場は県内から4人目。久志さんは「作文する中で、自分の目標がはっきりしてきた。将来は手話通訳士をしながら、福祉の仕事に携わりたい」と夢を語ってくれました。



▲ 家族や学校関係者とともに知念市長、前門教育長を訪れ、出場決定の報告をした久志さん(前列:右)